

代表総務 茶谷 助

沖繩慰霊の日 代表を派遣

県主催の全戦没者追悼式に参列し黙祷

新日本宗教青年会連盟（新宗連青年会、宮本泰克委員長）は6月23日、沖縄戦の組織的戦闘が終了した沖繩慰霊の日に合わせて、代表者を派遣した。今回は宮本泰克委員長と庭野嘉照委員、齋藤佑助委員、宮崎智司委員が参加した。



国立沖縄戦没者墓苑を参拝した。

午後11時50分から、県主催の沖繩全戦没者追悼式に参列し、正午に合わせ、黙祷を捧げた。式典終了後は、沖繩平和祈念堂を参拝。

この日は晴天で酷暑となったが、4年ぶりとなる通常の規模での開催となり、多くの遺族らが参列して祈りを捧げていた。

戦時中の生活を語る

神奈川県協 平和学習会

神奈川県協議会（尾上正行議長）は6月18日午後1時半から、横浜市の立正佼成会横浜館で「新宗連神奈川県協議会平和学習会」を4年ぶりに開催した。会場には思親会と松緑神道大和山、妙智會教団、立正佼成会の4教団の会員信徒が参加した。



講演を受けた、参加者同士が感想を共有し、その後、感想発表を行った。三村記代・平和学習会実行委員長が閉会あいさつを述べ、終了した。

講演を受け、参加者同士が感想を共有し、その後、感想発表を行った。三村記代・平和学習会実行委員長が閉会あいさつを述べ、終了した。

活動の意義を確認

近畿総支部 総務会・学習会

近畿総支部（藤井庸佐会長）は6月22日午後1時から、大阪市内のホテルで令和5年度総会を開催した。オンラインを併用せず、完全対面で実施するのは約4年ぶり。当日は総務以外に包括の各府県協議会の委員も参加し、第32期第3回総務会と学習会を行った。



石倉理事長が開会あいさつを述べ、議事を移した。

や、青年会活動と今後の予定について報告。併せて令和5年度下半期の事業計画と予算申請、専門委員会・総務会の日程等について協議し、今後のスケジュールを確認した。

木山神宮を訪問

九州総支部企画委ら

九州総支部（力久道臣会長）は7月5日午前10時から、熊本県益城町の木山神宮を訪問した。熊本地震で被災した同神宮の拝殿再建工事、神殿保存修理工事など、5年の歳月を経てよみがえった復興事業の歩みなどについて話を聞いた。



熊本地震で被災した同神宮の拝殿再建工事、神殿保存修理工事など、5年の歳月を経てよみがえった復興事業の歩みなどについて話を聞いた。

富士山登拝を学ぶ

首都圏総支部 学習会を開催

首都圏総支部（本山博会長）は7月31日午後1時半から、東京都世田谷区の扶桑教本部とオンライン併用で学習会を開催した。同総支部は令和5年度事業として、9月に高尾山麓王院、11月に大山阿夫利神社を参拝する。いずれも富士講（富士道）の重要な経路として所縁があることから、富士道を起源とする扶桑教の六野史生管長を講師に富士講の概略を学んだ。

第35回教団人セミナー等の学習会について検討。企画委員、新宗連企画委員会（企画委、田澤清喜委員長）は7月10日午前10時から、東京・代々木の新宗連会館とオンライン併用で第32期第6回委員会を開催した。

「宗教と社会」学会・第31回学術大会を愛知で開催

ウクライナの宗教事情など発表

「宗教と社会」学会（高橋典史会長）は6月24、25日、名古屋市の愛知学院大学で、第31回学術大会を開催した。24日午後1時半から、3つの会場に分かれて個人発表が行われた。この中で、上越教育大学の塚田穂高准教授は、1990年代に神戸市立工業高校において信仰上の理由による必修の剣道に参加しなかった生徒が退学となったことが違法かどうか争われた事例を取り上げ、現在の「宗教2世」問題との関連で、再考を促した。神戸高専の裁判は最高裁まで争われ、生徒側（原告）が勝訴した。塚田氏は、ここで示された「マインリティの信仰理解・配慮」は、今日的に見れば「子どもへの信仰強制・虐待」への注意も必要だが、後者のみが注目されていることへ危惧も述べた。

国学院大学の井上順孝名誉教授は、認知宗教学的観点から、「カルト問題」が恐怖や不安といった感情に強く訴えていること、人間の認知的傾向として、「分析的思考」より「ナラティブ（物語）思考」が強い影響を及ぼしていることについて、法案について情報共有し、今後、監督権の強化などに繋がないよう注視していくことを確認した。

「カルト問題」への言及も



井上順孝名誉教授が個人発表（24日）。

新型コロナウイルス感染症の早期終息 並びに「すべてのいのちを尊ぶ世界」の実現を祈念いたします (50音順)

人にしんせつ
地球に感謝
宗教法人
真生会
会長 田中 庸仁
住所 岐阜市彦坂 七八
電話 (058) 335-7304

善隣教
教主 力久道臣
福岡県筑紫野市原田
電話 (092) 961-0006

だん ぎょう かい えい だい
教団 會 慧 大
〒599-8126
大阪府堺市東区大美野142-14
TEL 072(236)1601
FAX 072(237)3107
URL http://www.daiei-kai.jp

大日如来様御奉戴の
宗教法人 光妙教会
大法輪台意
大日如来様御聖業奉讃会

一人ひとりが
神と出会い
一人ひとりが
神を現わす
玉光神社

宗教法人
天願山 晃妙寺
住職 松本 晃芳
役員 一同
大阪府枚方市招提平野町四ノ一四
電話 072-857-7546

宗教眞光
SUKYO MAHIKARI
〒506-0055 岐阜県高山市上岡本町 2-596-1
TEL 0577(34)7008

宗教 祖神道教団
祖神 吉岡 優
天宮神宮 西宮市山口町船坂一三一九
TEL 078(03)10001

宗教法人
大日然教
一切を生かす
神随らの教えのにわ
大和教團
倅せへの
道しるべの神を祀る
大國神社

天恩教
教主 鉢呂 神龍
理事長 鉢呂 金太郎
〒619-1301 京都府相楽郡笠置町
大字有市小字西狭間一番地
電話 074(3)951-7786

天光教總本部
〒619-1301 京都府相楽郡笠置町
大字有市小字西狭間一番地
電話 074(3)951-7786

電話 ○三—三四六八—五五五二
東京都渋谷区代々木5—57—10

ウクライナの実情を学ぶ

宗教者として祈り 平和のために何ができるか



ウクライナ避難者の救援を行うAMD Aの難波理事が記念講演を行った。

金光教東京センター(嶋田洋所長)は7月16日午後2時から、東京・秋葉原の金光教館で「第40回金光教東京平和集会」を開催した。昨年同様、会場では新型コロナウイルス感染症予防の対策を取り、オンラインを併用して催された。

集会は毎回、時宜に応じた平和の諸課題を学んでいる。昨年は7月以降のロシアによるウクライナへの軍事進政を国際法から考えた。今回は引き続き停戦への糸口が見えない状況が続いていることから、ウクライナ避難民の支援にあたるNPO担当者から現状と課題について学んだ。

世界平和と人類の助かりのお役に 第40回金光教東京平和集会

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと

AMD Aが他の団体・関係者と協力して行った救援活動では仮設診療所で地元医師や看護師と共に24時間交代で一日あたり15〜20人の患者に対応したこと



大樹天台座主(左から6人目)とカ久教主(右から2人目)ら各宗派代表8氏が登壇し「平和の祈り」



比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

宗教指導者 世界平和へ提言と祈り

比叡山宗教サミット36周年 世界平和祈りの集い

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

比叡山宗教サミット36周年記念「世界平和祈りの集い」が8月4日、滋賀県大津市の天台宗本山比叡山延暦寺で開催された。

恒久なる安寧、世界平和を祈願

日蓮宗

千鳥ヶ淵戦没者追善供養 並世界立正平和祈願法要

日蓮宗(田中恵神宗務総長)は8月15日午前9時から、東京・九段の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「令和5年度千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要」を厳修した。法要は昨年に引き続きYouTubeでライブ配信された。

日蓮宗(田中恵神宗務総長)は8月15日午前9時から、東京・九段の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「令和5年度千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要」を厳修した。法要は昨年に引き続きYouTubeでライブ配信された。

日蓮宗(田中恵神宗務総長)は8月15日午前9時から、東京・九段の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「令和5年度千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要」を厳修した。法要は昨年に引き続きYouTubeでライブ配信された。

新宗連青年会 第58回 戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典

終戦78年 絶対非戦と平和実現の誓い新たに

国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

8月14日

新日本宗教育青年会連盟(新宗連青年会)は8月14日午後6時から、東京・九段の国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑で第58回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8・14式典)」を開催した。主催者あいさつと新宗連代表あいさつ、「平和へのメッセージ」の全文と、教団別礼拝で式典の模様を紹介する。

主催者あいさつ

「平和の道」―手を携え、共に歩む

新宗連青年会委員長 宮本 泰克



と並び、二大行事と位置付けているユースフォーラムは、4月に北海道で、アイヌ民族と共生をテーマに多様性を学びました。遡って2月には、4年ぶりとなる沖繩慰霊平和祈願式典を派遣しました。新宗連の先達の先生方は、「8・14式典」の祈りを原典に、沖繩、アジアへ慰霊使節団を派遣し、敵味方、怨讐を超えたすべての戦争犠牲者の慰霊と平和祈願、そして未来志向のより良い関係性の構築に取り組み、私たちが「新宗連青年会」のころから伝えて下さっています。

第58回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」の開会にあたり、主催者を代表してあいさつ申し上げます。約3年半に及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応は、新たなステージへと移行し、徐々に日常に戻って参りました。本日も、新宗連の加盟教団代表者、青年会の代表者が、この千鳥ヶ淵戦没者墓苑にご参集下さいました。また今年も、新宗連の内外、全国から多くの皆様、視聴を通してご参加くださっており、誠にありがとうございます。さて、私たちが「8・14式典」

新宗連代表あいさつ

国内外で希求される「多様性」の実践

新宗連理事長 石倉 寿一

△代読▽新宗連理事 本山 一博

第58回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」の開会にあたり、新宗連を代表してあいさつ申し上げます。本年も千鳥ヶ淵戦没者墓苑に鎮まります御霊をはじめ、すべての戦争犠牲者に対し、新宗連加盟教団の皆さま、真心からの慰霊、鎮魂の御供養を捧げる事ができました。天候不安定の中、ご視聴いただいた皆さま、ご準備くださった皆さま、誠にありがとうございます。



明日は終戦から78年の記念日を迎えます。2年後には終戦80年の節目となります。戦争を体験された方々は年々減少されていますが、私たちは、毎年この場所で、あらゆる戦争

＜教 団 別 礼 拝＞



円 応 教



解 脱 会



立正佼成会



妙智會教団



思 親 会



松緑神道大和山



宗 教 眞 光



各教団代表は六角堂の陶棺に向かい、真心を込めて祈りを捧げた



天 恩 教



玉 光 神 社



善 隣 教

平和へのメッセージ

慈しみの心忘れず、家庭・国・世界の平和へ繋げる

解脱会青年本部九州ブロック議長 北島 鯉久人

終戦78年を迎え、先の大戦で犠牲になられた御霊魂様に対し、謹んで慰霊の誠を捧げるとともに、世界平和を心から祈念致します。『平和へのメッセージ』を述べさせていただきます。今回、このお役目を頂き、戦争を知らない世代の私は戦争について知らない、戦争体験者ではない、私が解脱会に入会するルーツとなった祖母に当時の話を伺いました。



夫を亡くした曾祖母は戦後の混沌とした時代の中で、生活に苦しみながらも懸命に働き、近所の人々とお互いに助け合いながら、祖母と祖母の姉を育てました。当時は日本中が私の祖母のように生活に苦労した人ばかりだったと拝察されますが、お互いに助け合いながら調和していく心から、今日の平和な日本へと復興してきたと祖母の話を聴いて改めて感じました。

私は9年前、解脱会の青年部活動として行われていた、カンボジアに学校を建てた取り組みの一環であるスタディツアーに参加し、カンボジアを訪れました。カンボジアでは1975年から22年間続いた内戦の爪痕が色濃く残っており、貧困により学校に行くことができない子ども達を見て、当時20歳で全く何も知らなかった私は衝撃を受けました。慰霊で訪れたキリングフィールドには、お互いを敬い、個性を



全国から奉納された折鶴で荘厳

～「8.14式典」奉納の折鶴～
解脱会御霊地でお焚き上げ
折鶴に込められた尊い祈りに感謝



折鶴お焚き上げの中、教団別礼拝を行う

第58回「8・14式典」実行委員会(伊藤徳亮実行委員長)は8月19日午後2時15分から、埼玉県北本市の解脱会「御霊地」の浄炎場で、同式典に加盟教団会員信徒をはじめ全国各地から献納された折鶴の「お焚き上げ」を行った。伊藤徳亮実行委員長と受け入れの解脱会の岡野孝行青年本部長(新宗連青年会副委員長)があいさつ。伊藤実行委員長は新型コロナウイルス禍がひと段落したばかり、また台風の影響もあった中で、各教団青年の協力のもと無事、式典を催行できたことへの感謝を述べた。

この千鳥ヶ淵に鎮まる戦争犠牲者の御霊魂様、並びにすべての戦争犠牲者の御霊魂様のご冥福を深くお祈りすることにも、一人一人の心に常に慈しみの心を忘れず、家庭の平和から、国の平和、世界の平和へと繋げていくことをここに誓い、平和へのメッセージとさせていただきます。